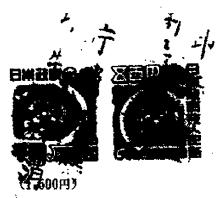
公開実用 昭和50-102778



実用新案登録願

特許庁長官殿

1. 考案の名称

2. 考 案 者

大阪府東大阪市上四条町るのる 11 氏 内 尤

3. 実用新來登録出願人

Щ 口

4. 15 理 人

> 住 所 〒550 大阪府大阪市西区阿波盧南通1丁目71番地 アマノビル 電話 大阪 06 (532) 4 0 25 (代)

瓦 名 (8808) 弁理士 森 本 蕤

5. 添付書類の日録

(1) 明 酄 lie (2) 図 面 1 通 (3) 麥 Œ 状 1 通

(4) 願 書

49 600845

持業の名称
包装用容器

?

2. 実用新業登録請求の範囲

内容物を被覆圖定する膨出部を形成した樹脂フィルムを貼着し、該膨出部を挟んでコの字状に両側部を断出部よりも高く折曲すると共に診断出部の間標に囲まれる部分に内容格を出し入れまる。 手段を設けた内装台と、耳状に両側板を連縮する。 様板上に前記内装台を執電内模せしめる保護枠と、 この内装台を内嵌した保護枠を収納する外装備と からなることを特徴とする他装用容器。

1. 考察の詳細な説明

本考察社小型電気製品、時計、電物等の包装用容器に関する。従来とれらの内容物は発泡機能等の優衡材を用いて雑酷めしていたので優衝材の製作費が高くつく上に使用後の緩衝材の処理が面倒であった。本考案はとれらの欠点がなく原紙を主要材料に用いて製作できる包装用容器を提供しょうとするものである。

公開実用 昭和50-102778

以下本考案の包装用容器を実施の例示図に基い て説明する。第1因にかいて、臼は方形の台紙で あって中央部(2)には憲罪を形成するミシン穴の切 込み娘(4)を散けてある。(4)は兩側部であって(4)は 折曲用の暴線である。との台紙(1)には第2回に示 すように前記中央部はの切込み線は内に載置する 内容物を被覆固定する原出部(4)を形成した透明の 樹脂フィルム(1)を貼着し、前記両側部(4)を修出部 (6) の爾側に折曲して内装台(8) が形成されている。 との調酬部(4)は前記影出部(6)よりも高くしてある。 **歯3図にかいて(a) は保護枠であって両側を折曲し** て中央の横板皿を挟んで耳状に両側板印が連結を れている。そしてとの横板凹上に前配内装台側を、 折 慮 した 両 劉 都 (4) が 夫 々 捜 板 伽 両 蜀 の 両 僧 板 ⑪ 作 重畳するように、栽置内嵌せしめてある。 第4因 にかいて四は、内装台(8)を内嵌せしめた保護枠(8) 収納する外装箱である。第5図にこの外装箱図 の内装台(1)の前記部出部(3)内に後援盟定された内を転録ス 容 物 と外装 海収 の内壁 面 との間 には 空隙 が 存して との包装用容器は充分を接着機能を有している。

ì

本考察に係る包装用容器は以上のように実施し得るものであり、内容物を内装台の中央関係を放棄したの内容物の両側で内装を内容を開発した。との内容の両側に対するようにもなって、内容を開発を有いて、内容を開発を表示したので、内容を開発を表示した。内容を表示したので、内容を表示したので、内容を表示したので、内容を表示した。内容を表示したので、内容を表示した。内容を表示した。内容を表示したので、内容を表示した。

公開実用 昭和50-102778

脂フイルムの使用量が少くて許む。更にこの包装 用容器は以上のような構成であるから殆んど厚紙 を素材として製作できるので使来のような高値な 装着材を必要とせず使用後の処分も簡単である。 4. 図面の簡単な説 EE

第1因は内装台の台紙の製取りを示す平面因、第2因は内装台の新視器、第3因は保護枠の新視器、第3因は保護枠の新視器、第4因は包装状態を示す新視器、第5因は第4因のA-A級新面因、第6因は他の実施例を示す断面器である。

(i)…台紙、(s)…切り込み様、(d)…簡都、(d)…難 出郷、(i)…樹脂フイルム、(s)…内装台、(g)…保護 棒、咖…機板、(i)…例板、蟒…外装箱

代埋人 素 本 義 弘

